

# なすしおばら げんきびと 元気人

あなたの身近な  
元気を募集中



>>> 那須野ふるさと花火大会 会長

## No.27 秋間 英司 さん

平成16年に一般社団法人黒磯那須青年会議所に入会し、今年第43代理事長へ就任。平成17年の第11回花火大会から運営に関わり、前回大会では実行委員長に就任。認定こども園黒磯幼稚園園長。

### Pick up



今年の開催は、  
8月6日(土) 午後7時～9時  
那珂川河畔運動公園  
今年も、ひととき大きな尺玉を上げる。



「このまちが心から愛せる」「ふるさと」であるために

那須野ふるさと花火大会を詳しく知りたい人は…

那須野ふるさと花火大会

検索



ときには深夜まで及びこともある会議。開催までに解決すべき課題は多いが、全ては感動的な花火を子どもたちに見せるため。メンバーの多くは、この花火を見て育っている。

この地域の夏の夜空を彩る花火。2年に1回行われる那須野ふるさと花火大会の開催に向け活動する「那須野ふるさと花火大会実行委員会」。会長を務める秋間英司さんに話を伺いました。

「大会のスタートを飾る一発目の花火が上がった瞬間。その時の感動は言葉になりません」大会の約1年前から会議を重ね、協賛活動に走り回った日々が成果が、この時初めて形になる。

まちの皆さんからお金を頂き、ボランティアで運営している花火大会。協賛を頂くために、平日昼間に無理を言っ

て会社を休み、活動することもしばしば。開催に向けて何度も何度も夜遅くまで打ち合わせ、8月の猛烈な日差しの中、丸2日間会場を設営する。そのため、最初の花火を見て、思わず泣いてしまうメンバーもいるという。

商工会の青年部や青年会議所を中心に組織する実行委員会。秋間さんが関わり始めたのは今から12年前の2005年。当時は、まだメンバーも多く、運営には若干の余裕があったとのこと。「ここ数年で人数が減り、運営が厳しくなってきました。このままだと立ち行かなくなってしまう」。

危機感を抱き、前回の大会から市民ボランティアスタッフを募集しているが、なかなか人が集まらずに苦労している。会場設営や撤収、ゴミの回収、警備など、大会の運営にはどうしても人手が必要になる。

それでも、この花火大会は多くの子どもが楽しみにしている。「花火を見てこのまちが良いなと感じてくれたらうれしい。高校を卒業したら都会に行ってしまうかもしれないけど、このまちの夏の花火を見て、何かを感じて戻ってきてくれたら嬉しい」。

この大会で代々受け継がれている理念「子どもたちに夢と感動を与えるために」を胸に、今日も準備に奔走する。